

日本発達支援学会 第1回大会 プログラム

2019年11月2日(土)・3日(日)

東北大学川内南キャンパス 文科系総合研究棟

共催：東北大学大学院教育学研究科

日本発達支援学会第1回大会のご挨拶

2019年11月2日(土)、3日(日)に、東北大学教育学部(東北大学川内南キャンパス)を会場に、日本発達支援学会第1回大会を開催します。

日本発達支援学会(The Japanese Association of Development Support)は、日常生活の文脈の中で人を理解し、人の発達を支援することを通して、人と人との関係を基盤とし豊かな発達を実現することを目指した学会です。そのため、心理学、教育学、保育学、障害学、医学、保健学、福祉学など様々な分野の研究者や実践者が集まり、今までにはない新たな発達支援の方法論と方法の開発を積極的に目指したいと考えています。

第1回大会では、「発達を支援するとは何を支援することか」をテーマとして掲げ、大会準備委員会企画の小講演、シンポジウム、研究発表が予定されています。

発達支援に関する実践と研究の蓄積を通して、より充実した発達支援のあり方を探って行きたいと考えています。

大会1日目の夜には、懇親会も企画されています。発達支援に関心をもつ様々な皆さんが大会、さらには懇親会に参加していただき、今後の実践と研究の進め方について活発な議論と意見交換が出来たらと考えています。

第1回大会準備委員会一同、皆様の参加をお待ちしています。

日本発達支援学会第1回大会準備委員会 委員長
本郷 一夫

会場へのアクセス

1. 会場

東北大学川内南キャンパス文科系総合研究棟(宮城県仙台市青葉区川内 27-1) 206 教室。
詳細は下記の東北大学のキャンパスマップ(川内キャンパス C エリア)をご覧ください。

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/areac.html>

2. 交通アクセス

【JR 仙台駅まで】

新幹線利用の場合、東京から 1 時間 37 分、大宮から 1 時間 8 分、新函館北斗から 2 時間 40 分。

航空機利用の場合、仙台空港から仙台空港アクセス鉄道にて 25 分(最速 17 分)。

【JR 仙台駅から会場まで】

地下鉄利用の場合、仙台市地下鉄東西線「八木山動物公園」行きで「川内駅」下車(「仙台駅」から 6 分)。



参加者へのご案内

1. 事前参加申し込みをされている方の受付

受付（206 教室内）にて受付の手続きをしてください。
参加章および領収書は受付時にお渡し致します。

2. 当日参加申し込みの方の受付

受付（206 教室内）にて大会参加費（一般 7,000 円、学生 4,000 円）をお支払いください。

3. 大会論文集

本大会の大会論文集は、事前参加申し込みの方も含め、大会当日に受付にて配布致します。

4. 講演等の録音・録画

講演等の録音・録画については、著作権および肖像権の保護のため、司会者より録音・録画を許可する旨のアナウンスがある場合を除き、お控えください。

5. 食事

近隣には食事をする場所がございませんので、昼食を各自ご用意ください。
自動販売機は文科系総合研究棟 1 階にあります。

6. 懇親会

大会 1 日目の 19:00 から「イタリア料理とワインのお店 **gustare** (グスターレ)」(宮城県仙台市青葉区一番町 3-5-15-2F) にて懇親会を行います。
仙台市地下鉄東西線「青葉通一番町駅」で下車していただき、徒歩 5 分の場所です。

7. 大会に関する問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、日本発達支援学会事務局にメールにてお問い合わせください。

日本発達支援学会事務局 E-mail: jadsoffice@gmail.com

発表者へのご案内

1. 会場の設備

会場にはパソコンおよびプロジェクターを用意しております。
ご自身のパソコンをご使用いただくことも可能です。

2. 配布資料

配布資料がある場合は、必要部数を各自で事前にご用意ください。

大会日程

	11月2日(土)	11月3日(日)	
9:00		受付開始	9:00
10:00		小講演③ 言語発達支援の観点から	10:00
11:00		小講演④ 超低出生体重児の発達の臨床像	11:00
12:00	受付開始		12:00
13:00	基調講演	研究発表	13:00
14:00	小講演① 情動にむけた自然的観察をベースとした発達支援		14:00
15:00	小講演② 教授・学習からみた「支援」の問題		15:00
16:00	シンポジウム 保育所における巡回相談の取り組みと課題		16:00
17:00			17:00
18:00			18:00
19:00	懇親会		19:00
20:00			20:00
21:00			21:00

基調講演

11月2日(土) 13:00~13:30

日本発達支援学会の設立の趣旨

講演者 東北大学 本郷 一夫

小講演①

11月2日(土) 13:30~14:30

情動にむけた自然的観察をベースとした発達支援
—アスペルガー症候群の潜って見えてこない孤立・怒り・攻撃を具体的にとらえる—

司会 石巻専修大学 平川 久美子
講演者 首都大学東京 須田 治

小講演②

11月2日(土) 14:40~15:40

教授・学習からみた「支援」の問題

司会 尚絅学院大学 小泉 嘉子
講演者 東北大学 工藤 与志文

小講演③

11月3日(日) 9:30~10:30

言語発達支援の観点から
—コミュニケーション言語、学習言語それぞれの支援の観点から—

司会 石巻専修大学 松好 伸一
講演者 東北大学 川崎 聡大
関西総合リハビリテーシ ョン専門学校 北中 雄二

小講演④

11月3日(日) 10:40~11:40

極低出生体重児の発達の臨床像

司会 宮城教育大学 飯島 典子
講演者 五十嵐小児科・仙台赤十字病院総合周産期母子医療センター新生児科 高橋 立子

保育所における巡回相談の取り組みと課題

—巡回相談の質の向上を目指して—

企画・司会・話題提供	石巻専修大学	平川久美子
話題提供	宮城教育大学	飯島典子
話題提供	東北学院大学	高橋千枝
指定討論	東北大学	本郷一夫

研究発表

研究発表

司会	東北大学	本郷一夫
司会	東北福祉大学	平川昌宏

ある自閉スペクトラム症児と教師との関係性形成の過程

—1年間の記録から—

国立特別支援教育総合研究所	○李熙馥
筑波大学附属久里浜特別支援学校	飯島杏那
筑波大学附属久里浜特別支援学校	村上絵里佳
筑波大学附属久里浜特別支援学校	加藤敦

函館市1歳6か月児健康診査における問診内容の検討

函館市子ども未来部母子保健課	服部菜摘
----------------	------

東北メディカル・メガバンク計画における三世代コホート調査参加児に対する試み

東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門小児発達分野	○小林美佳
東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門小児発達分野	小林朋子
東北大学東北メディカル・メガバンク機構三世代コホート室	栗山進一
東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門小児発達分野	呉繁夫

2歳児クラスにおける自己主張の発達(3)

—物の取り合いに焦点を当てて—

仁愛大学	鈴木智子
------	------

幼児期・児童期における情動表出の抑制の発達に関する研究

—情動理解と表情表出との関連に着目して—

聖和学園短期大学	山本信
----------	-----

日本発達支援学会第1回大会準備委員会

大会委員長	本郷一夫	(東北大学)
大会事務局長	高橋千枝	(東北学院大学)
大会準備委員	飯島典子	(宮城教育大学)
	小泉嘉子	(尚絅学院大学)
	平川久美子	(石巻専修大学)
	平川昌宏	(東北福祉大学)
	松本恵美	(東北大学)
	松好伸一	(石巻専修大学)